

■2026 年度 A 日程 一般入学試験・実務経験者特別入学試験

■「小論文」問題の出題趣旨・解説

【出題趣旨】

課題文において、筆者は「なぜウソは悪いとされるのだろうか？」という問を設定し、倫理的観点から「悪い」とされる理由を解明しようとしている。課題文の趣旨を理解し、整理できるか、また、これを参考として、各自の見解・分析力を問うものである。受験者には法曹を目指すために必要な読解力、考察力、そして論理的な文章表現力を求めている。設問に即して整理した叙述が求められる。

【解説】

1. 解答にあたっての注意事項と解答方法について

解答にあたっては、問題表紙に、①解答の訂正方法(斜線又は横線での消去と次のマス目からの書き直し)、及び、②記入方法(記入欄・横書き)が指示されており、それに従った解答が求められる。誤字・脱字の多さも、採点基準に含まれる。

2. 〔問〕について

(1) 筆者は、「真実基準の共通性、自覚性、秘密性・操作性という3つの成立要件を満たす嘘が“問題のうそ”であり、本来のうそである」といい、「嘘とはコミュニケーション関係において、自らが信じているホントのこと(リアリティ)と異なる言明・表現を意図的におこない、それを他者に隠蔽している言明という」とする。

(2) 筆者は、設問(1)のとおり嘘の概念を前提として、〔公理0〕を導くにあたり3つの〔公理1～3〕を根拠とする。筆者の見解をまとめることは求められておらず、これを参考として、嘘が悪いのかについての検討がされなければならない。筆者の根拠及び結論の是非という形で論じることが可能である。倫理的観点からだけでなく、是非を論じることが可能である。また、筆者の嘘概念を異として、別の定義を行い、論じることが考えられる。すなわち、嘘が悪いか悪くないかは、判断対象の定義や判断の基準・視点などによって変わり得る。いかなる結論を導いたかは問題ではない。反対論への目配りをしつつ、結論を導くまでの論理と論述の構成が重要となる。